

大久保部会 神鋼真岡旧友会・花グループ共催 綿摘み・芋ほり会

令和6年11月9日（土曜日）、神鋼真岡旧友会と大久保部会花グループの協力で「綿摘み・芋ほり会」を実施しました。千住金属工業の皆さんに参加していただきました。当日は晴れてとても天気の良い一日でした。

前半は、神鋼真岡旧友会より真岡市の花である「わた」の摘み方を教えてもらい、綿摘み作業を行いました。今年はとても暑かったせいか、生育がイマイチでした。それでも、つぼみを収穫したり実った綿を摘んだりしました。

後半は、花グループの協力でさつまいもと里芋の収穫を行いました。子どもたちは、大きな芋を見つけては歓声を上げていました。



大久保部会 コラボレもおか ごみ拾いボランティアイベント

令和6年11月30日(土曜日)、自然ふれあい園”大久保”で、コラボレもおか主催のボランティアイベントが開催されました。親子で自然ふれあい園”大久保”周辺のごみ拾いをしてながら自然とふれあい、作業の後にみんなでお食事をするというものでした。

1時間ほどのごみ拾いでしたが、参加した子供たちは、見つけにくいような奥の方に捨てられたごみや、草木に隠れたごみを見つけて拾っていました。もおか環境パートナーシップ会議の大久保部会で活動している、花・ホテル・森グループの活動のお話も交えながら、あっという間の時間でした。ごみ拾いに夢中になり、袋が満杯になって運ぶのが大変でした。

ごみ拾いの後は、みんなでお食事をしました。ボランティアの方が作ってくれたけんちんうどんを食べて、体も心も温かくなりました。

これからも皆様の力をお借りして、自然ふれあい園”大久保”が市民の憩いの場所となるよう、活動を続けていきたいと思っています。



大久保部会 推し街ボランティア（高校生ボランティア）の活動

推し街ボランティアとは、高校生に自治会や市民活動団体が行う地域活動等へ参加してもらい、活動体験をとおして地域活動や社会貢献活動を知ってもらうことを目的に、2022 年から真岡市と市民活動推進センターコラボレもおかが共催で行っているボランティア体験事業です。もおか環境パートナーシップ会議でも昨年引き続き、ホテル・水辺グループと森グループの活動に、延べ 22 名の高校生に参加していただきました。自然に触れあいながら実際の作業を体験したり、普段は聞けない生物や植物の話を聞いたり、貴重な経験ができました。



大久保部会 ホタル・水辺グループ ホタル飛翔確認会

令和6年6月14日（金曜日）、ホタル飛翔確認会を実施しました。

当日は、自然ふれあい園“大久保”周辺の育成会の方やボランティアとして参加していただいている企業の方など67名の方に集まっていただき、大久保部会のホタル・水辺グループで活動している矢吹さんよりホタルについて説明を受けた後、ホタル池に移動してホタルが飛んでいる姿を確認しました。子どもも大人も、ホタルの光を追いかけるように見ていました。



大久保部会 神鋼真岡旧友会 表彰

神鋼真岡旧友会は、受賞した表彰の報告会を真岡市役所で行いました。

- ・「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰 保全活動部門 受賞
- ・第36回森林レクリエーション地域「美しの森づくり活動コンクール」協会会長賞 受賞
- ・令和5年度大気・水・土壌環境保全活動功労者表彰 受賞

神鋼真岡旧友会は、株式会社神戸製鋼所真岡製造所に勤めていた方々によって構成されたOB団体で1989年に団体を設立し、ボランティア活動を開始した平成元年より「株式会社神戸製鋼所真岡製造所は地域に育ててもらった」との考えのもと、真岡市への社会貢献として、大久保地区周辺で里山林の下草刈り、落ち葉さらい、周辺道路等のごみ拾いなどの自然環境保全活動に取り組まれています。



大久保部会 環境美化功労者表彰

千住金属工業株式会社栃木事業所と大和リース株式会社栃木二宮デポ・関東工場は、「環境美化功労者表彰」を受賞されました。

環境美化功労者表彰は、清潔できれいなまちづくりのために、公共施設や地域の環境美化に積極的に取り組んでいる個人や団体に贈られるものです。

2社はもおか環境パートナーシップ会議の企業ボランティアとして、自然ふれあい園“大久保”において活動されています。

千住金属工業は、遊歩道の除草作業、花の手入れ、周辺のゴミ拾いなど自然環境整備活動、大和リースは、真岡市自然ふれあい園“大久保”においてホタルが生息できるよう水辺周辺の整備活動を実施しております。



環境学習推進事業部会 学校への環境出前講座

市内の小中学校にお邪魔して、環境に関するお話や実験・体験活動を行いました。

- 令和6年6月6日（水曜日） 大内東小学校 5年生
お話：森林保全とSDGs
実験・体験：光合成の実験、校庭で樹木測定体験
- 令和6年6月14日（金曜日） 久下田小学校 4年生
お話：ごみ問題と私たちにできること
実験・体験：ごみの分別ゲーム
- 令和6年6月19日（水曜日） 山前小学校 5年生
お話：地球温暖化とは？SDGsとは？
実験・体験：二酸化炭素の溶解実験、水の膨張実験、自然エネルギーの発電実験
- 令和6年6月26日（水曜日） 大内中央小学校 5年生
お話：SDGsとごみ問題
実験・体験：ごみの分別ゲーム
- 令和6年7月9日（火曜日） 西田井小学校 5年生
お話：地球温暖化とは？
実験・体験：二酸化炭素の溶解実験、水の膨張実験、自然エネルギーの発電実験、
光合成の実験
- 令和6年7月11日（木曜日） 山前中学校 1年生
お話：SDGsとエネルギー
実験・体験：二酸化炭素の溶解実験、水の膨張実験、自然エネルギーの発電実験、
光合成の実験
- 令和6年7月16日（火曜日） 中村小学校 5年生
お話：SDGsとごみ問題、SDGsとエネルギー
実験・体験：ごみの分別ゲーム、自然エネルギーの発電実験
- 令和6年9月20日（金曜日） 物部小学校 5年生
お話：食糧問題
実験・体験：花の写真を見て農産物をあてるクイズ
- 令和6年10月7日（月曜日） 真岡東小学校 5年生
お話：地球温暖化
実験・体験：光合成の実験、二酸化炭素の溶解実験
- 令和6年10月22日（火曜日） 物部小学校 5年生
お話：SDGs
実験・体験：自然エネルギーの発電実験

- 令和6年11月8日（金曜日） 長沼中学校1年生
 お話：SDGs とエネルギー
 実験・体験：二酸化炭素の溶解実験、水の膨張実験、自然エネルギーの発電実験、
 光合成の実験
- 令和6年11月18日（月曜日） 大内西小学校5年生
 お話：地球温暖化防止
 実験・体験：光合成の実験、二酸化炭素の溶解実験、水の膨張実験
- 令和6年12月20日（金曜日） 亀山小学校6年生
 お話：SDGs
 実験・体験：二酸化炭素の溶解実験、水の膨張実験、自然エネルギーの発電実験



環境学習推進事業部会 夏休み工場見学・環境学習会（千住金属工業）

令和 6 年 7 月 25 日（木曜日）、千住金属工業株式会社栃木事業所松山工場にて、工場見学・環境学習会を開催しました。

前半では、企業の方から工場で製造されている製品の説明を受け、日常生活の身近なところに使われていることを学びました。

工場見学では、機械が動いているところや作業されている人の姿を見たり、ものに触れてみたりして、実際に製造している現場を見学しました。

後半は、環境学習会を行いました。お話のテーマは「循環型社会と SDGs」。SDGs の目標 12 である「使う責任・作る責任」。電気をこまめに消したり、食べ残しをしないなど、今日から取り入れることができそうな行動があります。クイズの場面では、保護者の方も一緒に考えて参加してくれました。

工作会は「和紙でつくるランプづくり」。好きな形に飾りつけたランプを中から照らすと、素敵な模様が浮かび上がります。夢中になって、和紙をいろいろな形に切り取って、ランプを作っていました。



環境学習推進事業部会 夏休み施設見学・環境学習会（大和ハウス工業）

令和6年8月9日（金曜日）、大和ハウス工業株式会社栃木二宮工場にて、施設見学・環境学習会を開催しました。

前半では、企業の方から住宅に関するお話や、未来を考えた街づくりのお話などを聞きました。施設見学では、ジオラマを見学し、自分で自転車をこいで発電する体験などを行いました。

後半は、環境学習会を行いました。お話のテーマは「地球温暖化」。地球温暖化によって、食物の生育や気候が変化してきています。夏はとても暑く、休憩や水分をちゃんと取らないと倒れてしまいそうなくらいです。グリーンカーテンや打ち水など、自分でできることから涼しくなる工夫をしていきましょう。

工作会では「風とゴムのはたらき」の実験をしました。車に帆をつけて風で動かす実験や、車にゴムとプロペラをつけてゴムの力で車を走らせてみるなど、みなさん、お友達と競争しながら、また工夫しながら実験をしていました。



環境学習推進事業部会 夏休み工場見学・環境学習会 (SHPP ジャパン)

令和 6 年 8 月 21 日 (水曜日)、SHPP ジャパン合同会社真岡事業所にて、工場見学・環境学習会を開催しました。

始めに、工場で作っているプラスチック原料や会社概要についてお話を聞きました。SHPP では、環境に配慮した再利用可能なプラスチックなどの原料（ペレット）を開発・製造しています。プラスチックは、私たちの身近なところに使われ、生活を便利にしていることを知りました。

工場に立ち入るときのルールなど安全に関する説明を聞いた後、ヘルメットや保護メガネを着用して、工場現場に移動して機械が動いているところや作業されている人の姿を見たりしました。ライン現場の音や暑さを感じ、実際に製造している現場を見学しました。見学の後は、SHPP の方に教えてもらいながらスーパーボールづくりを体験しました。

後半は、環境学習会を行いました。お話のテーマは「SDGs とごみ問題」。ポイ捨てされたごみは、最終的には海に流れて行ってしまいます。そのごみを、海洋生物や鳥たちはエサと間違えて食べてしまいます。ごみは最後まできちんと処分しなくてはなりませんね。

工作会は「ソーラーエコカー」を作りました。もおかエコの会や SHPP の方にサポートに入っていただき、皆さん集中して工作を楽しんでいました。

SHPP の工場見学は今回初めての試みでした。担当者の皆様、子どもたちのよい思い出となるよういろいろ準備していただきまして、ありがとうございました。



環境学習推進事業部会 環境展（産業祭）環境学習ブース

令和6年11月23日（土曜日）、環境課では真岡市大産業祭と同時開催で環境展を実施しました。環境展は青年女性会館2階ホールで実施しました。

市内の小中学生が学校で使っているタブレットを使って、栃木県が作成した環境学習教材「とちぎ未来ファンタジー」のサイトにアクセスし、地球温暖化に関するクイズや短編動画をみました。

市内の小中学校に環境出前講座を行っている環境学習推進事業部会の方に協力をいただき、参加者からの質問や補足説明などのサポートをしてくださいました。

また、会場では来場者の方に環境やごみ問題・地球温暖化に関するメッセージを書いてもらいました。みんなの少しの変化で、地球の未来を守っていきましょう！



パナソニックがお手伝いする親子で学ぶ環境教室 環境学習部会の勉強会

令和6年9月7日（土曜日）、AutoMirai 真岡公民館にて、パナソニック株式会社エレクトリックワークス社から2名の講師にお越しいただき、パナソニックがお手伝いする親子で学ぶ環境教室を開催しました。

前半は、「エネルギーの創・蓄・省」についてのお話を聞きました。私たちの生活にエネルギーは欠かせないものです。皆さんは、見ないテレビをつけっぱなしにしていたり、必要以上にエアコンの温度を下げたりしていませんか？エネルギーを使いすぎると、温暖化の原因であるCO2が大量に排出されます。ゲリラ豪雨、勢力の強い台風が発生する、食べ物が採れなくなってしまうなど、私たちの生活に直面する影響が出てきています。身近なところから、エネルギーについて見直してみましょう。

後半の工作会では「ソーラーエコハウス」づくりを行いました。講師の先生の話聞きながら、パーツを間違えないように組み立てていきます。ドライバーを使ってねじを締めたり、ボンドで貼り付けたり、保護者の方にもサポートしていただきました。

出来上がったソーラーエコハウスの明かりをつけて、完成です。



環境学習推進事業部会 冬休み工場見学・環境学習会（コベルコパワー真岡）

令和6年12月26日（木曜日）、株式会社コベルコパワー真岡にて工場見学・環境学習会を開催しました。

最初に、紹介動画を視聴しコベルコパワー真岡で行っている事業について説明を受けました。その後、見学施設「みらいん」に隠されているアイコンを探してタブレットをかざすと電気のしくみを学べるAR(拡張現実)体験を行いました。発電所内の見学では、実際の設備を見学し、設備の大きさを体感することができました。

後半は環境学習会を行いました。お話のテーマは「SDGs とエネルギー」。ものを動かしたり熱を出したりするためには、エネルギーが必要です。SDGsの目標7には「エネルギーをみんなに。そしてクリーンに」があります。いつもの生活の中で節電を心掛け、エネルギーを上手に使う工夫をすることが大切です。

工作会では、再生可能エネルギーの太陽光を利用して動くソーラーミニカーとキャンドルを制作しました。ソーラーミニカーは、太陽光の力がモーターに伝わりギアが動く仕組みです。ギアの向きを調整しながらまっすぐに走るかどうか確認を行いました。キャンドル作りは時間が足りなく工作会の時間内ではできませんでしたが、キャンドルは電気を使わずに明かりがとれる昔ながらの方法のひとつです。



エコ・レポーター事業部会 不法投棄現地調査

令和 6 年 9 月 30 日（月曜日）、エコ・レポーター事業部会で市内 6 か所の不法投棄現地調査を行いました。

確認場所：西田井・若旅・勝瓜・長田 IC 付近・下籠谷・下鷺谷

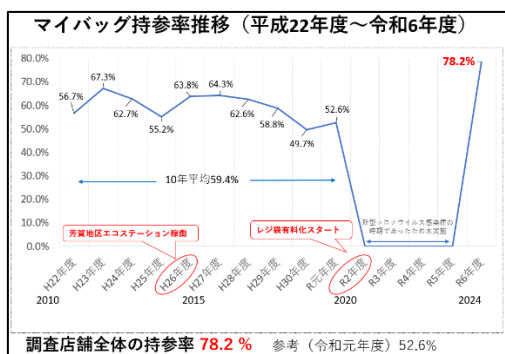
大型の不法投棄よりも、ペットボトルや空き缶・瓶、お弁当などの空き容器が多くありました。確認場所周辺のごみ拾いを行いを行いながら、半日かけて調査し、多くのごみが集まりました。



エコ・レポーター事業部会 マイバッグ持参率調査

栃木県が実施している「マイバッグ・キャンペーン」期間である10月に、新型コロナウイルス感染症の関係で令和元年度から中止していたマイバッグ持参率調査を、令和6年度は実施することができました。

今回の持参率は、元年度と比較すると大幅に上昇し、78%まで伸びていました。調査にご協力いただきましたスーパーの関係者の皆様、ありがとうございました。



マイバッグ持参⇒
レジ袋削減(ごみ減量)⇒
二酸化炭素の削減⇒
地球温暖化の防止

- ・マイバッグを使うことが地球環境の改善につながります。
- ・市民の皆さん、買い物時にはマイバッグを使いましょう。

出典：環境アセスメントと環境マネジメントシステム、環境省、環境省、環境省

エコ・レポーター事業部会 環境展（産業祭）マイバッグ作り

令和6年11月23日（土曜日）、環境課では真岡市大産業祭と同時開催で環境展を実施しました。環境展は青年女性会館2階ホールで実施しました。

マイバッグ作りでは、無地のバッグに自分で好きな絵や文字を書いて、世界に一つだけのバッグ作りを行いました。イベントに協力していただいたエコ・レポーター部会の皆さんは、「買い物に行くときはマイバッグを使いましょう」、「マイバッグを使うと、レジ袋が不要になりレジ袋をつくる量が減るので、製造過程で発生する二酸化炭素の削減につながるから地球温暖化防止になります」など参加者に声をかけたり、出来上がったバッグをドライヤーで乾かす作業をサポートしてくださいました。

参加者は、さっそく出来上がったバッグに産業祭で買い物したものやシール・お菓子などを入れて持ち帰っていました。

